

2024 年度第 5 回産業医部会幹事会議事録

○開催日時：2025(R7)年 2 月 16 日（日）9：00～12：43

○開催方法：Web 会議（ZOOM）

○出欠状況一覧(敬称略)：

- ・出席：北海道(原)、東北(各務)、関東(大橋、加藤、谷山、堀本、宮本、山瀧)、
北陸・甲信越(塚原、西澤)、東海(石川、遠田、西)、近畿(岩根、濱田、深井、
森口)、中国(真鍋、塩田)、四国(斎藤、杉原)、九州(池上、大神、小田原、黒崎)、
担当理事(西田)、監事(深澤、中西)
- ・欠席：関東(飯田)、北海道(羽賀)、東北(萱原)

0. 部会長挨拶

・会の開始に先立ち、宮本部会長から、退任幹事への謝意が述べられ、改選を受けた新体制、新任幹事の選出等々、当部会に期待されている役割や社会的使命、部会員が 2000 人となった現状の共有と今後の流れの確認・共有ののち、本日の議事進行への協力依頼がなされた。

1. 審議事項

①前回、前々回幹事会議事録の確認【資料 1】、議事録確定方法について 石川

・事前資料に基づき議事録（第 3 回、第 4 回）の確認の流れの説明があり、修正事項があれば 1 週間以内に連絡して頂きたい旨と、それを受けて確定とする流れについて報告された。

②2024 年度事業計画案、重点活動項目について【資料 2】 石川

・事前資料に基づき 2025 年度事業計画の説明、重点項目として P コース、A コース等をあげることの説明がなされた。

③2025 年度予算案について【資料 3】 深井

・事前資料に基づき 2024 年度予算執行状況の報告、2025 年度予算案の説明、2024 年度の監査の流れの報告がなされた。2025 年度予算計画の詳細について宮本部会長からの現状の予算執行状況、今後の予算遂行予定（見込み）、来年度の予算計画項目（収入増額見込みに対する予算計画含め）等々に関する質疑応答がなされた。

④2024 年度プロフェッショナルコースについて【資料 4】 加藤

・事前資料に基づきコースの開催概要（参加者数 48 名、参加者満足度アンケート 4.82 点/5 点満点）参加体験記の執筆依頼状況について説明がなされ、現地に参加した各幹事（森口・杉原・谷山・宮本・中西）から企画構成への賛辞および感想が述べられた。

・実行委員および企画運営委員長等の交替に関する説明（退任の先生、新任の先生の紹介等々）がなされ、質疑応答ののち原案通り承認された。なお、新任の先生（佐々木先生）の他の委員会との兼任状況等も予測されており負荷状況への配慮についての確認がなされた。

・規約に基づく委員の改選状況及び任期（再任含む）についての確認がなされた、委嘱状発行を総務担当から行う事の認識共有がなされた。

⑤産業医アソシエイト（Associate）コース：A コース【資料5】

深井

- ・事前資料に基づきコースの前回幹事会以降の開催準備状況（実行委員構成、今後のスケジュール、第1回産業医アソシエイトコース開催概要、応募の開始と締切のスケジュール、プレ開催報告状況含む）について説明がなされた。
- ・開催の狙い（Pコースとの住み分け、対象者の確認（産業衛生専攻医レベルを目安）、医部会員増への誘導含む）や企画概要、開催案内の方法（地方会からのアナウンス、日本産業衛生学会本体のウェブサイト等々）への質疑応答がなされた。また、委嘱状の発行に関する手続き等（委嘱状発行対象者の確認、任期含め）に関する意見交換がなされた。
- ・独立性と利益相反の視座から、委員や企画構成員に専門試験制度の委員は入らない、という基本的考え（受験予備校とはならないように）に関する意見交換がなされた。

⑥専門医制度（社会医学系、日本産業衛生学会）について

大神、池上

- ・日本産業衛生学会専門医制度委員会の構成員変更や試験の在り方の変更の検討状況、社会医学系専門医制度の構成団体変更等の動きについて口頭で説明がなされた。宮本部会長から大神幹事の当部会における今後の役割についてのあり方についての認識の擦り合わせがなされた。

⑦医部会報について（編集委員会）【資料6】

原

- ・事前資料に基づき部会報発行状況、部会報担当幹事の先生方へのお願い事項についての説明がなされ、塩田幹事（総務副担当）から部会報投稿記事に関する著作権の問い合わせと対応状況についての補足説明がなされた。谷山幹事から以前の対応の経緯と検討事項についてコメントがなされ、宮本部会長から他媒体への投稿（二重投稿）に関する補足説明がなされた。今後の検討の方向性についての意見交換（原稿を依頼する際の依頼対応、リポジトリ登録確認時の対応、部会報としての著作権のあり方等々）がなされ、宮本部会長から日本産業衛生学会総務業務執行理事に医部会報の著作権のあり方（校正前 / 校正後の著者最終稿）についての問い合わせを行う事となった。

⑧ポスター賞選考と表彰方法について【資料7】

西澤

- ・事前資料に基づきポスター発表優秀賞選考の準備と手順(On site 開催版)案についての確認（対象、基本的な考え方、着眼点、表彰演題数を2演題と変更すること等々）がなされ、2024年度の執行状況の報告がなされた。
- ・宮本部会長より2025年度のポスター選考委員の担当者の入れ替えについての検討が提案され承認された。
- ・杉原幹事より第35回の準備を進めるうえでの対象者選定のあり方、ポスター発表に関するタイムスケジュールの現検討状況が口頭で説明され、当日の具体的な選考審査の進め方、選考対象者との連絡調整の進め方、表彰予算等々についての認識の共有がなされ、学会事務局側で受賞者へのリボンの準備を行う旨の表明がなされた。

⑨学会ホームページ、部会ホームページ、学会のメルマガについて

黒崎

- ・学会メルマガと部会ホームページに関する現行の運営状況について口頭で報告がなされ、2つの宿題（中防災関連表彰者の掲載、ポスター発表優秀賞のページの創設）についての対応状況、広

報活動の対応状況（部会報 40 号の発行等々）についての報告がなされた。

⑩第 97 回学会（仙台）部会長賞選考方法について

宮本・遠田

・現対応状況及び今後の段取りについて口頭で概要説明があり、改選による退任幹事と新任幹事の任期のあり方（委嘱期間）についての確認含めた業務執行者に関する認識の擦り合わせがなされ、選考に関する協力依頼がなされた。

⑪第 98 回学会（仙台）医部会フォーラムについて

各務

・医部会フォーラム（5 月 17 日 16 時から）および総会の準備状況について口頭で説明がなされた。

⑫提言・産業保健サービスを小規模事業場（第 98 回学会シンポ）

宮本

・政策法制度委員会からの提言内容について宮本部会長から口頭で説明がなされ、森口副部会長から政策法制度委員長の想いやシンポジウムに関する補足説明がなされた。

（小規模事業場への提言：

https://www.sanei.or.jp/files/topics/recommendation/teigen_OHPRC202408.pdf）

⑬第 35 回全国協議会（徳島）自由集会について

斎藤、杉原

・準備状況（企画概要、日程予定）について杉原幹事から口頭説明がなされた。

⑭部会幹事の選び方を含む、部会規程の見直し案【資料 8】

宮本

・事前資料に基づき部会に関する規程の改定案について、改訂に至る背景や検討事項（幹事会の定義、幹事や理事の構成、委嘱期間、各地方会毎の人数等々）について宮本部会長より説明がなされ、理事会での意見交換の流れについて認識の擦り合わせ及び意見交換がなされた。

（現行規定：<https://www.sanei.or.jp/about/regulations/others/index.html#bukai>）

（現行細則：<https://www.sanei.or.jp/about/regulations/physician/index.html>）

⑮役割分担表について【資料】

宮本

・宮本部会長より改選後の新任幹事陣容を踏まえたうえでの最新版に改訂したバージョンの業務担当案について画面提示がなされ、各幹事の業務担当案についての方向性（考え方：◎、○、△、緑枠、赤枠、黄色枠）について説明がなされ、現幹事の担当状況及び負担感に関する認識の擦り合わせがなされた。

⑯次回幹事会の日程について

石川・塩田

・事前調整の結果を踏まえ、以下の通り日程が確定された。

○次回幹事会：2025(R7)年 4 月 26 日(土) 9:00~12:00 新旧幹事で開催

・部会長選挙についての意見交換がなされ、池上幹事・山瀧幹事に担当を引き受けて頂き、投票権は新幹事のみにある事、次回幹事会冒頭で開票をすることを含め今後の進め方の流れが確認された。

2. 報告事項

①第 34 回全国協議会（木更津）開催報告

宮本・山瀧

・宮本部長から収支含めた開催結果（参加者数 1,830 人が登録、現地参加は 1,300 人程度、約 4 千万(39,980,000 円)の収入で 2 百万弱の赤字と理事会報告したが、最終的には百十万程度に収まる見込み）の報告が口頭でなされた。

②第 98 回学会（仙台）の準備報告【資料 10】

菅原・各務

・各務幹事から日本医師会認定産業医研修会の単位について MAMIS 経由での対応になる旨の説明（真鍋幹事より 3 月までに MAMIS で個人が登録する必要がある事を補足）がなされた。

③第 99 回学会（近畿地方会）について

森口・岩根

・森口副部長より口頭で開催準備状況の報告（タイトル（案）：すべての労働者への産業保健実践と学術の共同で挑む、企画構成は公募ではなく企画運営委員とプログラム委員とで検討する方針等々）がなされた。

④第 35 回全国協議会の準備状況について

斎藤・杉原

・斎藤幹事より口頭で開催準備状況の報告（タイトル：すべての労働者が元気に働ける産業保健を目指して、学会開催会場の下見の現状）がなされた。

⑤第 36 回全国協議会（中国地方会）の準備状況について

真鍋・塩田

・真鍋幹事より口頭で開催準備状況（日程：2026(R8)年 11 月 5 日から 11 月 7 日、会場候補：倉敷市民会館・倉敷芸文館）、事務局体制等々の報告がなされた。

⑥第 100 回学会（九州地方会）について

大神・小田原

・小田原幹事より口頭で開催準備状況の報告がなされた。

⑦各種委員会報告（生涯教育、政策法制度、学術、ダイバーシティ、広報） 担当幹事

・遠田幹事より生涯教育委員会でのベスト GPS 賞（化学物質の自律管理に伴う事業場内での化学物質等管理容量の作成と運用について：小笠原先生）、GPS 奨励賞（個人ばく露測定を活用した騒音障害防止対策と教育：安田先生）の選考結果の報告（内定）、第 98 回学会（仙台）のシンポジウム準備状況（復職支援と復職の仕組みを中心というテーマで 5 月 17 日に開催）が口頭でなされた。

・森口副部長より政策法制度委員会での体制、取り上げるテーマ選定のあり方についての検討状況等々に関しての報告が口頭でなされた

・森口副部長より学術委員会についての体制変更や対応の現状（AMED の基盤整備事業や基盤基礎研究の推進、女性の研究支援等々）について口頭で報告がなされた、

・西幹事よりダイバーシティ委員会の対応の現状（オンラインセミナーの開催報告等々）について口頭がなされた。

⑧各担当幹事報告

各幹事

- ・特になし

⑨理事会報告【資料 11】

西田

- ・事前資料に基づき理事会での審議報告事項についての報告がなされた。

⑩四部会長会議報告

宮本

- ・宮本幹事より口頭で現状報告がなされた。

⑪各地方会活動報告

各幹事

- ・各地方会からの現状報告（各地方会開催時期や開催概要）がなされた。
（北海道(原)、東北(各務)、関東(福本)、北陸・甲信越(塚原)、東海(石川)、近畿(岩根)、中国(真鍋)、四国(杉原)、九州(小田原)）

⑫退会基準などの確認について

石川・塩田

- ・部会報が送られていない方からの問い合わせが部会ホームページ問合せ窓口に寄せられた経緯の報告（会費は払っていたけれどもなぜか部会員名簿から外れていた）があり、部会員の名簿管理について再確認する必要がある事についての意見交換がなされた。

⑬その他

- ・特になし

以上